

天気ことわざの言い習わし（諺）

※「天草俚諺集」鶴田 功 著より抄録

天気予報は、今では科学的な情報として新聞・ラジオ・テレビ・携帯・スマホ・タブレット・パソコンなどでも知ることができます。天気を知るとは、災害から身を守ったり、農・漁業を営む人や、旅行、行楽の計画をたてる上でもとても重要なことです。

気象は、気圧・気温・風による雲の流れなど刻々と変化します。地域や地形によっても状況が異なります。

春と秋の天気は偏西風の影響で西から東へ移動しますが、夏は太平洋高気圧、冬はシベリア高気圧の影響を受けますので予想するのは大変難しいことです。

気象や台風地震などの情報は、全国各地1300ヶ所の観測所アメダスによる各種データや人工衛星、レーダーなどの情報でより正確な予報が出来るようになりました。

昔の人々は自然現象の変化や生物の行動などをよく観察して天気を予想し、言い習わしことわざ（諺）として言い伝えてきました。

天気ことわざの言い習わしは、確率的には低いけれども生活の知恵として、今もなお言い伝えられています。

自然現象

晴 曇 雨 しも霜 あられ霰 雪 ひょう雹 春霞 あきぎり秋霧 霧 けあらし気嵐 朝焼 夕焼 虹 しんきろう蜃気楼
霧雨 つゆ梅雨 夕立 豪雨 やまつなみ山津波 なだれ雪崩 風 台風 たつまき竜巻 つなみ津波 地震 雷

言い習わしことわざ（諺）

自然現象の変化

天気は西から変わる 春秋の移動性高気圧の影響

西が曇れば雨 偏西風（中緯度地帯で西から東へ吹く風）

朝雨に傘要らず・朝雨は日照りのもと 後には晴れる

朝曇りひより昼日和 午後は晴れる

朝露あさつゆは晴れの前ぶれ 露は晴天の夜に放射冷却で冷えることができる

朝霧きりは晴れ ※霧は水平視距離（視程）1 Km 未満 ※春の霧は「春霞（かすみ）」という

朝霧は雨 迫霧は雨 ※霧(もや)は水平視界距離(視程) 1 Km 以上

朝霧 昼日和 朝霧が深い時は晴天になる

朝虹は雨 朝虹は太陽の反対側の西に雨が降るとき見える

東風焼け(朝焼け)は雨 ※朝焼けが雨になる確率は低い

夕焼けは日和(晴れ) 夕焼けは西側が遠くまで見えるとき起きる

あなぜん風(北西風)に変われば風雨が止む

海が澄むと雨近し 無風状態

大降り三日なし 大雨が三日続くことはない

おしあなん風(南東風)は強い台風になる

初雷に花餅を食べば病氣しない 五穀豊穰、無病息災祈願

朝雷に川渡りするな・朝雷に戸を開くんない 大雨の前 兆

雷ン鳴る時は桑畑に逃げろ 桑原桑原

雷ン鳴る時は蚊帳を張れ 落雷避難

朝雷には傘持つな 落雷する

冬の一つ雷は虫脅し 春の訪れ

入道雲は雷の前ぶれ 積乱雲

雨前の翳雲(うろこ雲)

翳雲(巻積雲)は上空の湿度が高いとき現れる

すじ雲ン時は地震や嵐の前 兆

飛行機雲がすぐ消えないときは雨前 大気の湿度が高い

高い山が雲に隠れれば雨 ※地域の高い山(矢筈岳・行人岳)

雲が南東に流れると晴れ(北西風) 北西に流れると雨(南東風)

煙りがまっ直ぐ上がれば晴れ 大気が安定して無風状態

煙りが東に流るれば晴れ 西風は低気圧が通過した後に吹く

東風は嵐の前ぶれ 低温の北東気流の影響

霜上げには雨が降る 霜は移動性高気圧で生じ、後に低気圧に変わる

醤油甕が汗掻けば雨 湿度が高い

橙色の夕焼けは台風の前 兆・夕焼け雲が橙色に焼けると台風の前ぶれ

強風で砂塵が舞い上がり波長の短い青は拡散し、波長の長い赤が遠くまで見える



遠くの音が聞こえるときは雨 雨雲が垂れ込める

土間が^{しと}湿れば雨 湿度が多い

鐘の音が近くに聞こえるときは雨 雨雲が低く垂れ込める

夏の^{さだち}早立(夕立)は馬の背中を分ける 夕立は狭い地域で局地的に降る

三月の忘れ雪(霜) 忘れた頃に降る雪のこと

三月浜^ン潮が一番引く 旧暦三月の大潮

暑さ寒さも彼岸ぎり〈暑さ寒さも彼岸まで〉

八十八夜の忘れ霜 寒の戻り=八十八夜過ぎは霜が降りない

春に三日の晴れなし 春は天気が変わりやすい

梅雨明けの日本晴れ 太平洋高気圧が張り出す

嵐の前の静けさ 無風状態 台風は西風が変われば止む 戻し風

秋の空は気まぐれ 秋は天気が変わりやすい

秋の夕日は^{つるべ}釣瓶落とし 落日(日没)が早い

星が^{またた}瞬くと^{しけ}時化する 低気圧が接近中

星空の翌日は晴れ・夕虹は^{ひより}昼日和(晴れ)・夕虹は星晴れ 後には晴れる

地震の時は^{たけやぶ}竹藪に逃げろ ^{じわ}地割れの心配なし

日^{かさ}暈、月^{かさ}暈に雨傘を持って 太陽や月に^{かさ}暈があれば雨 ※雲が薄ければ雨は降らない

※暈は低気圧の接近による巻積雲に光が当たると現れる大気光学現象。



ひかさ
日暈



つきかさ
月暈

生物の行動観察

あまがえる
雨 蛙が鳴けば雨 雨蛙は^{しつど}湿度に^{びんかん}敏感

魚が水面でパクパクすると雨 晴天が続いて水中の酸素が欠乏

髪の毛が縮む時は雨・髪の毛に串が通りにくい時は雨 湿度が高い

台風前には^{ねずみ}鼠が^{かく}逃げ隠れる

猫が^{つら}面（顔）洗えば雨 湿度で涙腺を刺激するため顔を洗う仕草をする

猫が^{つら}面（顔）洗うとき耳の後ろまで手を回せば晴れ 空気が乾燥して耳がかゆい

蜂が^{のきした}軒下に巣を掛くる年は台風が来る 蜂には台風非難の^{よちのうりよく}予知能力があるらしい

^{つばめ}燕が低く飛ぶ時や雨 雨前に低い所にいる昆虫を給餌する

^{とび}朝鳶は雨、夕鳶は晴れ 朝から鳶が飛ぶときは雨

^{とび}鳶が高く飛ぶと嵐が近い 鳶は上昇気流に乗って飛ぶ

^{とび}鳶が鳴くと晴れ 鳶は鳴き声で仲間と交信している「餌があるゾー」

カモメの高飛びは時化前・^{とび}鳶の高飛びは嵐の前ぶれ

^{からす}烏のへぐらし 明日は雨 （※日暮＝夕方遅くまで働くこと）

クチナワ（^{へビ}蛇）が出ると雨 雨前の^{きゅうじ}給餌行動

クチナワ（^{へビ}蛇）を早く見る年は^{こくしょ}酷暑になる

コブ（^{くも}蜘蛛）が朝から^{やに}脂張れば晴れ 無風状態

コブ（^{くも}蜘蛛）が低いところに^{やに}脂張る年は台風が多い

スガネ（^{あり}蟻）の行列は雨前

セセリ（^{フユ}蝸）が群れると雨 雨前の^{きゅうじ}給餌行動

セミが鳴き止むと雨 雨を避ける

蝶が群れ飛ぶ時は雨前 雨前の^{きゅうじ}給餌行動



農事と天気予報

五月の夕焼け井手堰落とせ 大雨の前兆 井手の水を外せ

朝雷は 井手落とし 井手堰が落ちる程大雨が降る

秋の夕焼け鎌を研げ・夕焼けにや^{かまと}鎌研げ 明日は晴天になる

朝雨に女の腕まくり 昼はよい天気になるよ

大雪の年は豊年 害虫の発生が少ない

日照りに不作なし 米作には日照の多い年の方が収穫量が多



晴天祈願

「照る照る坊主照る坊主 明日天気にな〜れ」

遠足・修学旅行・運動会、「どうか晴れますように」



